

故 古本次郎氏を悼んで



HOYA 株式会社 代表取締役会長

鈴木 哲夫

(前ニューガラスフォーラム元会長)

現在のニューガラスフォーラムの礎を築かれた古本さんが、突然に逝かれたとの報に接し、痛恨の思いであります。謹んで哀悼の意を表します。

古本さんは、坂部社長の急逝の後を受けて昭和 62 年に旭硝子株式会社の社長に就任されました。同年、社団法人ニューガラスフォーラムが設立されると副会長になられ、昭和 63 年には第二代会長に就任されました。

古本さんは、技術畑出身ではなかったにも拘わらず、技術研究開発指向のニューガラスフォーラムに対して数々のユニークな提案をされ、これを実行されました。

会長就任後の古本さんならではの行動として特筆すべきは、当時 100 社程度であった会員企業を、年度末までに 170 社にまで増やされたことであります。その行動力には目を見張るものがありました。この事から見ても、古本さんが如何にニューガラスフォーラムを大切にされていたかが分かります。

会長としての古本さんの功績は多々ありますが、特に思い出深いのは国際ガラスデータベースのことであります。

最近でこそ、知的基盤整備としてのデータベースの重要性が喧伝され、各業界でも作成に着手していますが、古本さんは当時からその重要性に着目され、強いリーダーシップを発揮されて国際データベース構築事業に取り組みられました。

各社のボランティアによるデータ収集集団を組織する一方、旭硝子株式会社から 2 名の専属職員を派遣してこれに当たらせ、2 年後に国際ガラス組成・物性データベース INTERGLAD を完成させたのであります。

当時より、わが国には国際的に情報発信している技術情報は少ないと言われていましたが、INTERGLAD はそのうちの一つで、ガラス業界の誇りと言っても過言ではありません。何と言ってもこれは古本さんの先見性によるもので、古本さんなくては出来なかったことであります。

古本さんにはニューガラスフォーラム設立以来、会長として、あるいは副会長として平成 8 年春まで通算 9 年間に亘り、ニューガラスフォーラムの運営に大きなお力添えをいただきました。

今もあの温かな笑顔が目に残ります。様々なご功績に深甚の感謝を申し上げますと共に、心からご冥福をお祈りいたします。